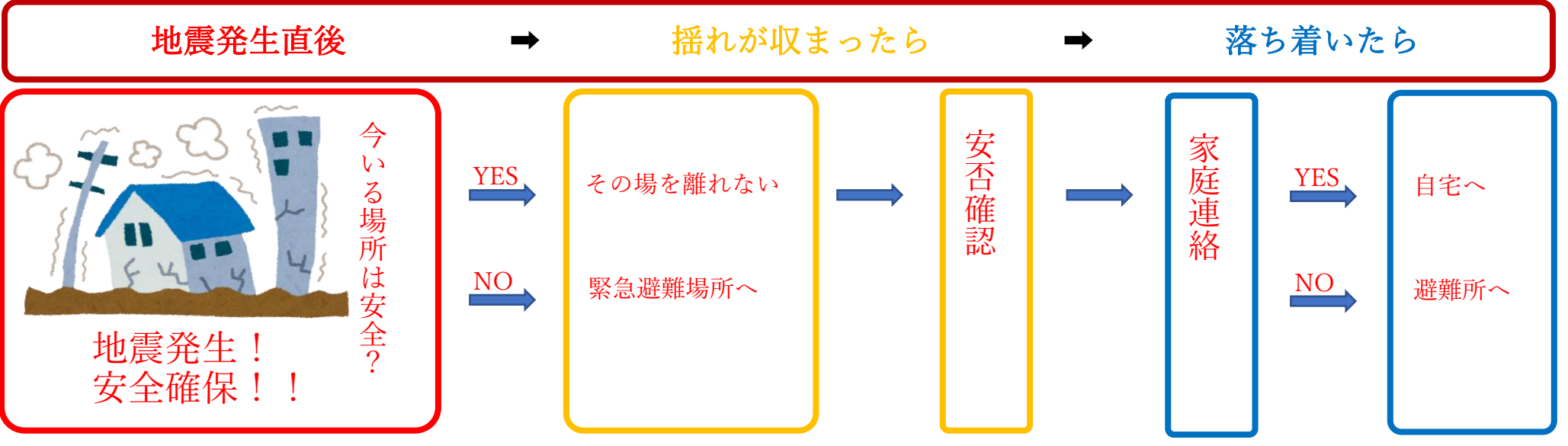
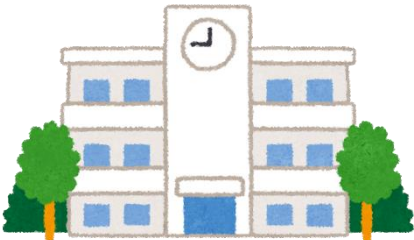
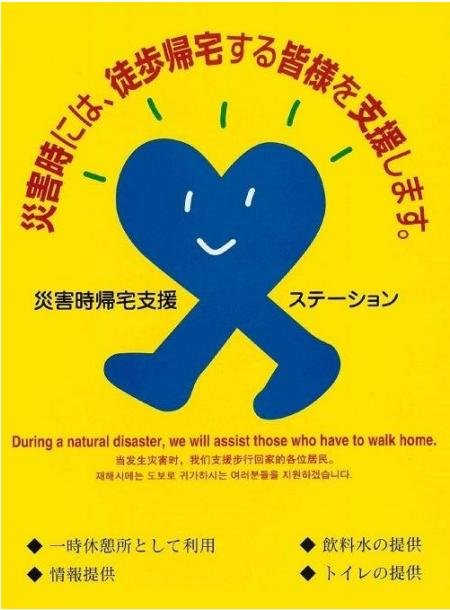
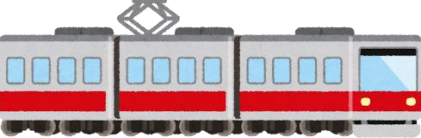




学校にいるとき	 大きな揺れを感じたら ●危険物から離れる 窓や棚、ガラスなどが割れたり中ものが飛び出しそうなものから離れる。実習中や課外活動中で周囲に危険なものがある場合はその場から離れる。 ●落下物から身を守る 机の下にもぐる、バッグなどで頭を覆うなどして頭と手足を守る。落下物がない場所にいる場合はその場に座り込む。 ●出口を確保する ドア付近にいる人は、ドアを開け出口を確保する。 ●揺れが収まるまで待つ 安全を確保して揺れが収まるのを待つ。	揺れが収まったら ●冷静になる 余震の可能性もあるので慌てずしばらく様子を見る。 ●周囲の状況を確認 周囲のものが倒れたり、落下してくる恐れがない場所に移動する。危険と判断した場合は安全な場所に移動する。 ●初期消火 火災が発生した場合は自分の身の安全な範囲で初期消火を行う。そうかが困難と判断した場合は速やかに火から離れる。 避難する時は ●落ち着いて避難 教職員や放送の指示に従って落ち着いて避難する。 ●火災が発生している場合 煙を吸わないようにタオルなどで口鼻を覆う。	緊急避難場所について ●緊急避難場所は、広く、火災による炎症の恐れがないところが適している。本校ではグラウンドを一次緊急避難所としているので避難を要する場合はまずそこに避難する。 ●地震時の状況により、二次非難する必要が生じることも考えておく。 ●学校及び担任などにより、安否確認作業が開始されるので速やかに応答できるようにする。 ●自分の身が安全な場合は他所を助ける。 安全が確認されるまでは ●余震が落ち着き、帰宅手段の安全が確認されるまでは無理に帰宅せず学校にとどまる。	帰宅時の注意点 ●安全に注意して帰宅する際には周囲の状況を確認しながら落ち着いて行動する。 ●本校周辺の高架下(穴門)などの構造物の下を通行する場合や、加古川にかかる橋を通行する場合は十分に安全を確認し、無理な行動は避ける。 災害時徒歩帰宅支援ステーション ●災害時の徒歩帰宅者を支援するために、災害時徒歩帰宅支援ステーションでは、「水道水」、「トイレ」、「道路情報」などの提供をしてもらえます。ハートに足をあしらったマーク入りのステッカーを店頭に掲示したコンビニエンスストアやガソリンスタンド、ファミリーレストランなどがその役割を担っています。 
通学中	 ●慌てず冷静さを保つとともに周囲の状況に注意し、身の安全確保を最優先する。 ●電柱・ブロック塀・自販機・建造物から離れ、落下物にも注意する。 ●電車内では、つり革、手すりにつかまり、電車が止まっても線路には出ない。乗務員・駅員の指示に従う。	●自転車通学の場合は、道路わきの安全な場所に停車し、安全を確保する。 ●被害状況を正しく把握する。 ●帰宅するか登校するか最寄りの安全な場所に避難するか、各自で判断し、速やかに行動する。 ●事前に把握（決めている）緊急避難場所に移動する。 ●避難中は警察や消防の指示に従う。	●学校・家庭に連絡ができる場合は連絡をして自らの状況を伝えとともに家族の安全を確認する。 ●一斉に帰宅すると各所で混雑が発生するため余裕をもった行動をする。 ●日没後の行動は危険で、夜間には犯罪に巻き込まれる恐れもあるため、一人での行動は避ける。 ●無理をせずに、緊急避難場所にとどまることも考える。	緊急連絡先 名前 TEL 名前 TEL 名前 TEL

災害が発生したら・・・ 地震が発生すると地震の揺れだけでなく様々な被害が懸念されます。 正しい情報を収集する ●倒れやすいものから離れ落下物に注意 ●むやみに動かず安全を確保 ●非常口やドアを開けて避難口を確保 ●避難は徒歩で荷物は最小限 （火を扱っていた場合は身の安全を確保した後火の始末） ●エレベータの使用をせず会談で避難 ●正確な情報収集に努めなるべく集団で行動 ●負傷者の救護や初期消火に協力 ●家族との安否確認および学校への安否連絡 	日ごろの準備 大地震の発生を防ぐことはできなくても日ごろの心構えで被害を軽減することができます。学校では、大地震に備えて防災に関する取り組みを進めています。が、積極的に参加するとともに家庭でもよく話し合い、認識の共有と行動確認を行っておくことが重要です。 ●緊急避難場所の確認 ●家族との連絡方法および待ち合わせ場所の確認 ●災害伝言サービスの確認と登録 （メール宛先などの事前登録が必要） ●帰宅ルートおよび所要時間の確認 ●緊急時メモの作成・記入 ●擬態的な情報収集手段および緊急避難場所の確認 （学校および校外） ●転倒防止対策や緊急時アイテムの確認 ●学校および友人などへの連絡方法の確認およびリストの準備	緊急避難アイテム 日ごろから準備・携帯しておくとう便利なもの ☐現金（小銭も） ☐健康保険証 ☐タオル・絆創膏 ☐手回し充電ラジオ ☐ティッシュ ☐チョコレート・あめ ☐学生証 ☐アドレス帳 ☐雨具（カッパ） ☐携帯充電器 ☐ゴミ袋 ☐ホイッスル ☐預金通帳 ☐常用薬 ☐運動靴 ☐卓上コンロ ☐ヒモ・ロープ ☐予備電池 ☐スリッパ ☐使い捨てカイロ ☐非常用保温シート ☐食品用ラップ ☐印鑑 ☐上着・下着・靴下 ☐リュック ☐懐中電灯 ☐ろうそく ☐缶切り・栓抜き ☐洗面用具 ☐非常用食材・水 ☐油性マジックペン ☐軍手
---	---	--

その他非常時に必要なアイテム

学校への連絡方法

安否連絡について

大地震が発生した場合、直ちに安否確認を行います。メールの送信が可能な状態になり次第発信をしてください。

メールアドレス

toban-ths@hyogo-c.ed.jp

電話

079-432-6861

報告事項

①氏名

②クラス・番号

③本人の状況

④家族や自宅などの状況

⑤その他

緊急時パーソナルメモ

氏名

学籍番号

緊急連絡先

住所

電話番号

血液型

持病ありなし

()

常備薬ありなし

()

アレルギーありなし

()

自宅近くの緊急避難場所

()

家族との待ち合わせ場所

()

※記入は油性ペンを使用してください

家族への連絡方法

災害用伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービスです。

【災害用伝言ダイヤル（171）の基本的操作方法】

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行って下さい。

操 作 手 順	伝言の録音	伝言の再生
①	171をダイヤル	171
②	録音または再生を選ぶ。	[ガイダンス] こちらは災害用伝言ダイヤルセンタです。録音される方は1、再生される方は2、暗証番号を利用する録音は3、暗証番号を利用する再生は4をダイヤルして下さい。 (暗証番号なし) 1 (暗証番号あり) 3 [ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。 XXXX (暗証番号なし) 2 (暗証番号あり) 4 [ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。 XXXX
③	被災地の方の電話番号を入力する。	[ガイダンス] 被災地の方のご自宅の電話番号を、または、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい 0XX XXX XXXX
伝言ダイヤルセンタに接続します。		
④	メッセージの録音 メッセージの再生	[ガイダンス] 電話番号0XXXXXXXX (暗証番号XXXX) の伝言を録音します。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」をおして下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直してください。 ダイヤル式電話機の場合 (ガイダンスが流れるまでお待ちください) 1 [ガイダンス] 伝言をお預かりします。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」をおして下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直してください。 プッシュ式電話機の場合 (ガイダンスが流れるまでお待ちください) 1 [ガイダンス] 伝言をお預かりします。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」をおして下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直してください。 ダイヤル式電話機の場合 (ガイダンスが流れるまでお待ちください) 1 [ガイダンス] 新しい伝言からお伝えします。 プッシュ式電話機の場合 (ガイダンスが流れるまでお待ちください) 1 [ガイダンス] 伝言をお預かりします。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」をおして下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直してください。 ダイヤル式電話機の場合 (ガイダンスが流れるまでお待ちください) 1 [ガイダンス] 新しい伝言からお伝えします。 プッシュ式電話機の場合 (ガイダンスが流れるまでお待ちください) 1

伝言の録音

(ガイダンスが流れるまでお待ちください)

録音終了後

9

[ガイダンス]
伝言を繰返します。訂正されるときは数字の8を押して下さい。再生が必要な方は9を押して下さい。

録音した伝言内容を確認する。

[ガイダンス]
伝言をお預かりしました。

伝言の再生

[ガイダンス]
お伝えする伝言は以上です。電話をお切り下さい。

[ガイダンス]
お伝えする伝言は以上です。伝言を追加し録音されるときは数字の3を押して下さい。

(ガイダンスが流れるまでお待ちください)

[ガイダンス]
電話をお切り下さい。

| ⑤ | 終了 | 自動で終話します。 |

覚えてください、災害時の声の伝言板 災害用伝言ダイヤル(171)

携帯各社の災害用伝言サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認(安否情報の登録)ができる災害用伝言板サービスです。あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供されます。また、インターネットからも安否情報の確認が可能です。

Docomo Docomo Do



o Docomo Docomo Docomo Docomo Docomo

Softbank Softbank



Softbank Softbank Softbank Softbank Softbank

au au au au au au au



au au au au au au au

本校緊急掲示板

東播工業-緊急情報



東播工業-緊急情報